

献血のお願い 6月3日(土)

日本赤十字社 東京都赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society



10:00~11:30 / 13:00~16:00

上野公園 ポケットパーク

献血の参加基準

種類	400mL献血	200mL献血(※2)
年齢(※)	男性：17~69歳(※1) 女性：18~69歳(※1)	16~69歳(※1)
体重	男女とも50kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上

※1：65歳以上の方の献血については、健康を考慮し、60~64歳の間に献血経験がある方に限らせていただきます。

※2：200mL献血については、当日必要な分が確保できた際に、受付を終了する場合があります。

ご参加前の確認事項

下記該当項目がある方はご参加いただけません。ご不明な点は受付職員までお尋ねください。

- ① 3日以内に薬を飲まれている方（当日服用していても大丈夫な薬もあります）
- ② 3日以内に歯科治療された方（歯石除去含む）
- ③ 直近のお食事を2食以上摂られていない方、睡眠時間が4時間以内の方
- ④ 海外からご帰国後4週間以内の方
- ⑤ 1980年以降、欧州・サウジアラビアに一定期間滞在された方
- ⑥ 1980年~1996年まで31日以上英国にご滞在歴のある方
- ⑦ 臓器移植・輸血歴のある方、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用経験がある方

★当日服用でも献血OKのお薬★

- 尿酸値を下げる薬
- 血圧を下げる薬
- 高脂血症薬
- 花粉症の薬

※風邪薬、痛み止めなどは当日不可です※

コロナワクチンについて

- ① mRNAワクチン（ファイザー・モデルナ）は⇒接種後48時間経過
 - ② ウイルスベクターワクチン（アストラゼネカ・J&J）は⇒接種後48時間経過
 - ③ 組み換えたんぱく質ワクチン（ノババックス）は⇒接種後24時間経過
- で、献血にご参加いただけます。

200mL献血について

日本赤十字社では、輸血を受ける患者さんの副作用リスクの低い
400mL献血をお願いしています。

医療機関からの血液製剤の要請の95%は400mL献血由来となっているため、
200mL献血については、必要分確保でき次第、受付を終了します。

NEW !



患者さんに800mLの輸血をする場合、
200mL献血×4人分より、
400mL献血×2人分の方が、
患者さんの副作用リスクが下がる、
ということが理由です。

輸血を受けられた方からのありがたいメッセージをご紹介します。



1人1人にお礼を言って回りたいくらい 感謝でいっぱいです。



2022年2月、私は25歳で急性散在性脳脊髄炎（ADEM）という珍しい病気になりました。この病気はステロイドの大量投与で回復することが多いそうですが、重症であった私はステロイドの大量投与だけでは回復せず、胸から下が麻痺して動かせなくなっていました。麻痺を改善するためには早急に「血漿交換療法」という方法で身体の中の血漿を入れ替える必要がありました。



血漿交換治療中の様子

血漿交換を行うには、透析の設備と血漿製剤が必要になります。私の場合、ありがたい事に麻痺が起こってから1日以内にその両方を準備していただくことができ、すぐに血漿交換療法を始めることができました。

20パック以上の血漿製剤を頂いた結果、私は急速に回復し、現在は杖1本で歩行ができるようになっています。医師からは「血漿交換をしなければ麻痺は治らなかっただろう」と言われ、**献血してくださった一人一人にお礼を言って回りたいくらい感謝でいっぱいです。**

大学生の頃から何度か献血には参加してきましたが、まさかこんなに早く自分が献血に救われるとは考えていませんでした。輸血をして頂いたため私自身が今後献血をすることはできませんが、違う形で献血に貢献していければと考えています。まずは自分の周りの人に、私が献血に救われたことを話していきたいです。



杖1本で歩けるようになった現在の様子

開原安理さん